

USE CASE

RPA「RoboTANGO」

iPaaS「JENKA」



ナカノフドー建設



株式会社ナカノフドー建設

URL : <https://www.wave-nakano.co.jp/>

設立 : 1942年（昭和17年）12月19日

従業員規模 : 1,331名（連結）759名（個別）（2024年3月31日現在）

事業内容 : 国内建設事業・海外建設事業・不動産事業

Box

Microsoft Teams

Microsoft OneDrive

Excel

JENKA導入で、Box内での受注案件ごとのフォルダ作成や竣工後のフォルダ移動を自動化！社内のDX推進に貢献

1933年に創業し、総合建設業者として、マンション、工場、病院、教育施設など、多岐に渡る建設に携わってきた株式会社ナカノフドー建設（以下同社）。同社はRPA「RoboTANGO」を導入して業務を活用していたものの、クラウドストレージBoxでの業務で一部不安定な部分があり手作業が発生していたため、Box内の処理を効率化するためSaaS間連携に強い「JENKA」の導入を検討した。低価格で操作性が容易な「JENKA」利用で、不安定だったBox内のフォルダ作成業務を完全自動化し手作業を削減。さらに今まで実現できていなかった業務の自動化にも成功した。

導入前の課題

RPAツール「RoboTANGO」で、受注した案件ごとに、「フォルダの作成」、「必要とするファイルの格納」、「ファイル内への情報の入力」の作業をさせていたが、「ファイルの作成」においてはクラウドストレージ「Box」を導入していたため、インターネットの通信状況に左右され、途中でエラーとなることもあり、結局手作業が必要になるという課題があった。

JENKAを選んだ理由

- ・ 初期費用も月費用も安価であった
- ・ 直感的な操作性、分かりやすいUI
- ・ フロー構築時のサポート体制

導入後の成果・効果

JENKA導入後、「国内案件の受注後のフォルダ作成」や「竣工後一定期間を超えた案件のフォルダ移動」を自動化。JENKAはバックグラウンドで処理を行うため、作業中も他の業務に取り組むことが可能となり、時間の使い方に自由度が生まれた。これにより、業務効率が向上し、他の作業に専念できる環境を実現。RPAとiPaaS両ツールの強みを活かした活用方法へ。

課題

アナログ作業が多く担当者の負担が増大していた

選定理由

アナログ作業が多く担当者の負担が増大していた

RPAを活用していたが、クラウドサービス上の処理業務で一部手作業が発生してしまっていた

コスト面が安価であったことや操作性やサポート対応の良さで導入を決意

株式会社ナカノフドー建設（以下同社）は、国内では建設事業、リノベーション事業、土木事業を展開し、国外では東南アジア圏を中心に建築事業を手掛ける創業90年以上の総合建設業者である。

同社では、RPAツール「RoboTANGO」を導入し、国内事業の受注案件ごとに「フォルダの作成」「必要なファイルの格納」「ファイル内への情報入力」などの作業を自動化していた。しかし、クラウドストレージサービス「Box」を活用した一部業務、特に「フォルダの作成」において、通信環境の影響でエラーが発生し、フォルダ作成を手作業で補わなければならない状況が課題となっていた。このため、RoboTANGOの操作と手作業を組み合わせる必要があり、処理に4～5時間を要していた。

「他のRPAや類似ツールも検討したものの、価格が高く、コスト面での負担が大きいと感じていました。実際、手作業で対応したほうが安いのではないかと話もありました。」（JENKA運用担当：宮崎氏）

< 導入の決め手 >

- ・ 初期費用・月額費用が安価であった
- ・ 直感的な操作性と分かりやすいUI
- ・ サポート体制

別の手段を検討していたところ、スターティアレイズよりiPaaS「JENKA」を提案された。当時、Boxのコネクタがまだなかったものの、開発予定ということから、ランニングコストも安価だったため、導入を検討。また、初期費用・月額費用ともに他社より安かった点に加え、JENKAの説明を受けた際に操作性が簡単であった点、また、フローも視覚的にわかりやすかったことから導入に至った。

「導入前だけでなく導入後のサポートも親身に対応していただけています。また、問い合わせをした際の一次対応なども早く、コミュニケーションがとりやすいので安心して利用できています。」（宮崎氏）

効果

受注案件ごとのフォルダ作成や竣工後のフォルダ移動をJENKAで自動化
RPAとiPaaS両ツールの強みを活かした運用で効率化を実現

JENKA導入後、「案件受注後のフォルダの作成」と「竣工後のフォルダ移動」の自動化を実現した。

（１）案件受注後のフォルダの作成

同社では、受注後のフォルダ作成をJENKAで自動化している。先月分の受注案件をシステムからCSV形式で出力し、Boxに保存されると、JENKAがCSVを読み取り、支社ごとに「新築工事」「リノベーション工事」などのフォルダを自動的に作成する仕組みである。JENKAが必要な情報をCSVから抽出し、案件に沿った雛形フォルダから複製して、特定のフォルダ配下に一括で作成している。

従来のRPAからJENKAに切り替えたことで、フォルダ作成が安定的に完了するようになった。JENKAによる処理は約3時間かかるものの、人が行う作業は確認のみで30分以内に短縮され、業務効率が大幅に向上している。

また、フォルダ作成後にはRoboTANGOを活用して、「雛形のフォルダには入れられない支社ごとに異なるファイルの格納」や、「Excelへの案件情報の記入」などのデスクトップ作業を自動化している。JENKAはWebベースの作業に強みを持ち、RoboTANGOはデスクトップ操作を得意とするため、それぞれの特性を活かして連携させることで、業務全体の自動化と効率化を効率的に実現している。

（２）竣工を迎えてから一定期間を超えた案件のフォルダ移動

竣工から一定期間経過した案件のフォルダを、完了フォルダに一斉移動する作業をJENKAで自動化。最新の竣工データ（CSVデータ）をBoxにアップロードすると、JENKAが支社ごとの完了フォルダに案件フォルダを移動する仕組みである。

以前は進行中の案件フォルダと、竣工後で触れることのない案件フォルダが混在しており、新しいフォルダを探すのが困難だったため、JENKA導入を機に自動化を実現。

過去の移動作業だけでも累計100時間以上の処理を自動化できた。人手で行っていた場合、竣工日との照合やフォルダの検索、移動作業に要する時間はJENKAの数倍に及び現実的ではなかったとのこと。

JENKAの導入がこの自動化を可能にしたといえる。



ご担当者様からのメッセージ



「定型業務でSaaSを使った業務の自動化はJENKAの得意分野ですので、もしそういう業務があって、使った感覚が良ければぜひ検討してみてもいいのではないかと思います。フローの作成についてはサポートが親身に対応してくれるため、不安なく進められると思います。コスト面からみても安価で操作性も優れていますので、ぜひ一度試してみることをおすすめします。」（宮崎氏）